**仮タイトル**

自己意識及び同調行動が大学生の服装選択に及ぼす影響

**目的**

近年の研究では、青年期、とくに大学生において同調行動が顕著にみられると指摘されてきた。また、同調行動には自意識も関係しているとの意見もある(葛西・松本、2010)。そして、藤原(1984)の研究では、被服行動(の関心度)と自己概念には関連があるとし、自我強度の小さい人は保守的な服装をし、外向的なひとは仲間に同調した服装をする傾向にあることが示された。本研究では、実際に服装の系統別に画像を呈示し、同調行動及び自意識が大学生の服装選択にどのように影響を及ぼすのか検討することを目的として調査を行う。

**調査方法**

大学生を対象とする。Google formにて質問項目を作成し、回答してもらう。

**質問項目**(別紙にて項目記載)

１．同調行動尺度(葛西・松本、2010)から１３項目

２．日本語版自意識尺度(菅原、1984)から7項目

３．普段学校に着ていくような服装に近い画像の選択(６択)

４．服装によって表したい自分の印象については、大石(2010)が印象評定に用いた尺度、及び井上・小林(1985)がまとめた形容詞対尺度を参考に、12項目作成した。

**使用するイメージ画像**

普段学校に来ていくような服装をイメージし、その中で、自分が選ぶ服装に一番近いものを選択してもらう。ジャンルは、Aカジュアル、Bきれいめ、Cストリート、Dクール、E古着、Fモード系を使用する。それぞれ、メンズファッションとレディースファッションを1枚ずつ呈示(計14枚)。

画像の選定は、大学生をターゲットに含むファッション雑誌「FINEBOYS」(メンズ・カジュアル)、「MEN’S　NON－NO」(メンズ・きれいめ)、「Smart」(メンズ・総合系)、「men’s　FUDGE」(メンズ・トラッド)、「non-no」(レディース・カジュアル)、「ViVi」(レディース・ギャル系)、「mini」(レディース・ストリート系)、「GINZA」(モード系)、「古着女子」(レディース・古着)、「FUDGE」(レディース・トラッド)より行う。(変更の可能性あり・近日中に購入予定)

**手続き**

普段の参加者自身の同調性を調べるために、「あなたの普段の学校での様子について、以下の項目にお答えください。」という項目を作成し、「１．非常に当てはまる」～「４．全くあてはまらない」の4件法で回答(13項目)。また、参加者の自意識の程度を調べるため、同調性同様に、「普段のあなた自身について、以下の項目にお答えください」という項目を作成し、「１．非常に当てはまる」～「４．全くあてはまらない」の4件法で回答してもらう（7項目）。次に、「あなたが普段、学校に着ていく服装に最も近いものを、以下の画像から１つ選び、アルファベット(番号)でお答えください。」という項目を作成し、上記にあげた服装のイメージ画像をメンズ・レディースともに呈示。その中から、当てはまる画像を一つ選択してもらう。最後に、「学校に着ていく服を決める際に、自分自身をどのように印象付けたいと考えていますか。」という項目を作成し、12の形容詞対それぞれについて「１．非常に」「２．やや」「３．どちらともいえない」「４．やや」「５．非常に」の5段階で回答してもらう12項目。

**分析方法**

同調性と自意識の関係については、各尺度間の相関係数を算出。(必要であれば、それぞれの下位尺度間の相関係数も算出)

同調性得点と服装の選択に関しては、森岡(2017)の研究をもとに、同調性得点の平均値を基準として高群と低群に分け、χ²検定にて連関を検討。  
　自意識得点と服装の選択に関しても、自意識得点の平均値を基準として高群と低群に分け、χ²検定にて連関を検討。  
　「服装によって自分をどのように印象付けたいか」については、自意識との関連を相関係数の算出によって検討したい。

**文献**

藤原康晴(1986)女子大生の被服の関心度と自己概念及び自尊感情との関係 家政学雑誌, 第37巻, 第6号, pp.493-499

井上正明・小林利宣(1985)[日本におけるSD法による研究分野とその形容詞対尺度構成の概観](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjep1953/33/3/33_253/_pdf) 教育心理学研究, 第33巻, 第3号, pp.69-76

葛西真記子・松本麻里(2010[)青年期の友人関係における同調行動](file:///C:\Users\kingd\AppData\Local\Temp\KK25189.pdf)―同調行動尺度の作成―　鳴門教育大学研究紀要, 第25巻, pp.189-203

森岡陽介(2017)[大学生の自己意識の違いが服装の印象及び選択に及ぼす影響](https://www.jstage.jst.go.jp/article/pacjpa/81/0/81_2C-012/_pdf)　日本心理学会第81回大会　３．社会、文化２C-012　pp.153

大石さおり(2010)[女子大学生が意図する服装による印象管理効果](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjske/9/3/9_J091005-2/_pdf/-char/ja)　日本感性工学論文誌, 第9巻, 第3号, pp.503-510

菅原健介(1984)[自意識尺度(self-consciousness scale)日本語版作成の試み](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjpsy1926/55/3/55_3_184/_pdf/-char/ja)　日本心理学研究, 第55巻, 第3号, pp.184-188

同調性尺度

「仲間への同調」因子

1. 親しい友達と同じような格好や行動がしたい
2. 友達がブランド品・流行の商品などを持っていると、自分も欲しくなる
3. 流行遅れになるのは嫌だ
4. 出来るだけ仲間と同じように行動したい
5. 何かを決める時には誰かに相談する
6. 何かをする時、皆と一緒だと安心する

「自己犠牲・追従」因子

1. 自分の意見を主張するより、相手の考えや意見を聞く
2. あまり目立つようなことはしたくない
3. 人と違ったことはしないでおこうと思う
4. 皆と同じようにしようと思う
5. 友達にいやな思いさせてまで、自分の意見を通したくない
6. いやだと思っても、その意見に従うことがある
7. 当たり障りのないような、人との付き合い方をする

自意識尺度

1. 自分が他人にどう思われているか気になる
2. 世間体など気にならない
3. 自分がどんな人間か自覚しようと努めている
4. 人に会うとき、どんなふうに振る舞えばいいのか気になる
5. 自分の発言を他人がどう受け取ったか気になる
6. 自分の容姿を気にするほうだ
7. ふと一歩離れたところから自分を眺めてみることがある

印象評定項目

1. 明るいー暗い
2. 積極的なー消極的な
3. 陽気なー陰気な
4. 活発なー不活発な
5. ユニークなーありふれた
6. 派手なー地味な
7. 真面目なー不真面目は
8. 素直なー強情な
9. 男性的なー女性的な
10. 理性的なー感情的な
11. 外向的なー内向的な
12. のんびりしたーてきぱきした